

地域交流が生まれた防災イベント

「ワクワク!防災大作戦!」白新中学校

令和6・7年度の白新中学校(中央区)コミュニティ・スクール活動で、生徒たちが考えた防災イベントが行われました。生徒が主体となってさまざまな防災に関するブースを準備・運営し、当日は地域住民約200人が訪れました。

会場には、AED体験や水消火器を使った的当て、防災工作、防災クイズラリーなど、こどもから大人まで楽しみながら学べる企画が並びました。簡易担架や段ボールベッドの組み立て体験、防災グッズの展示なども行われ、防災について考える一日となりました。



他にも

市内各地でコミュニティ・スクールが動いています!

- 葛塚中学校、葛塚東小学校(北区)：福島潟自然文化祭の企画・運営
- 下山中学校(東区)：水俣病問題の学習と発表会
- 矢代田小学校(秋葉区)：山の手ふれあいまつりの企画・運営
- 巻北小学校(西蒲区)：新之助米のPR活動 などなど…

活動を支えている地域の方へに聞きました!/:

白新中学校 学校運営協議会 米倉 正樹 さん

こどもの思いを実現できる地域に

目指す地域の姿の1つとして、こどもたちの「やってみたい」を地域全体で応援し、実現できる環境づくりがあります。今回は、生徒の「防災イベントをつくりたい」という声をきっかけに、地域の視点を取り入れた話し合いの場を設けるとともに、地域人材としてこどもたちと関わり、活動を支援しました。

世代を超えた交流の場に

イベントでは、皆さんから「楽しかったよ」「ためになったよ」という声を聞くことができました。普段は中学生と地域住民が関わる機会はそれほど多くありませんが、このイベントを通して、世代を超えた交流が生まれたことを嬉しく感じています。これからも学校運営協議会として、地域・学校・生徒がつながり、互いに協力し合える機会を作っていきたいと思います。

企画を立ち上げた中学生へに聞きました!/:

白新中学校 3年 山本 奏子 さん

学んだことを地域へ

授業でAEDの使い方を学んだときに、「地域の皆さんにもこの知識を知ってもらいたい」と思ったことが、活動のきっかけです。みんなで何度も話し合いをして、企画の内容を考えたり、地域の方に協力をお願いしたりしました。イベントでたくさんの地域の方との交流を通して、いざという時に周りの人と協力することや、日頃から備えておくことの大切さを学びました。自分たちで計画を立てて、地域の皆さんと一緒に活動できたことは、普段の学校生活では得られない貴重な経験になりました。

生徒と地域の力が合わさって、開催されたんだね!